

## 第2回伊平屋空港P I 評価委員会 議事要旨

1. 日 時 平成18年11月27日(月) 14:00~16:00

2. 場 所 ホテルチュラ琉球 会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員(順不同)

沖縄国際大学経済学部学部長	大城 保(委員長)
琉球大学工学部環境建設工学科教授	堤 純一郎
フリージャーナリスト	崎山 律子

#### (2) 伊平屋空港協議会

沖縄県企画部参事	長田 信
沖縄県土木建築部空港課課長	国吉 斉
伊平屋村村長	西銘 真助
伊是名村助役	上里 政豊

### 4. 次第

- (1) 開 会
- (2) 委員及び出席者紹介
- (3) 挨拶(沖縄県)
- (4) 議 事
  - ①P I (ステップ1) 実施報告書(案)について
  - ②その他
- (5) 閉 会

### 5. 配布資料

- 次 第
- 配席図
- 資料1 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント(ステップ1) 実施報告書(案)
- 資料2 伊平屋空港P I (ステップ1) に寄せられたご意見
- 資料3 地元説明会議事要旨
- 参考資料1 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント(PI) 実施計画書(平成18年5月)
- 参考資料2 伊平屋空港の調査報告書1

## 6. 主な発言内容

### P I（ステップ1）実施報告書（案）について

（委員）実施報告書（案）の内容は、大変良くまとめられている。

（委員）【資料2】寄せられたご意見、【資料3】地元説明会議事要旨は実施報告書と合冊して報告書として取りまとめるのか。

（委員）P Iの実施結果を冒頭に記載するなど、実施結果が一目で分かるような構成としたほうがよい。

（委員）図表9（P I活動の開始を知った情報メディア）のまとめ方は、理解度に関するまとめ方と同様に、「全体」、「伊平屋居住者」、「伊是名居住者」の分けとしたほうがよい。

（委員）実施結果（まとめ）の部分の記述内容と、各評価視点における評価の記述内容との整合をとるべき。

（事務局）報告書の構成等についてはご意見を踏まえて検討させていただきたい。実施結果が冒頭にあったほうが分かりやすいという件については、概要版的なものを作って、これを報告書の冒頭に挿入するといった対応を検討したい。

（委員）寄せられたご意見への対応の記述について、空港整備に関する意見や疑問を呈する意見への対応をより細かく記述すべき。

（事務局）意見への対応の記述について再検討させていただく。

（委員）報告書をP I対象者に配布することを検討すべき。

（事務局）概要版的なものを作って、これを伊平屋・伊是名村民に配布することを検討させていただく。

（委員）P I実施期間や実施時期について、各種イベントと組み合わせるなど、多数の方々もP Iに参加しやすい期間や時期を検討することが重要である。

（事務局）期間について1ヶ月で充分かどうか、来年度また新たなステップに進む場合には、その中で検討させていただきたい。また、実施時期や説明会の開催についても、皆さんの参加しやすい日程を考えて、また回数が1回でいいののかも含めて、検討させていただきたい。

（委員）地元住民の意見を吸い上げるためにも、伊平屋村、伊是名村共同の組織を立ち上げ、イベントを企画するなど、より前向きな取り組みを実施してみてはどうか。

（事務局）今後進めていく上で、両村も含めて対応させていただきたい。

（委員長まとめ）資料1の実施報告書（案）については、今日の委員会の各委員のご意見も踏まえて、最終的に成案として取りまとめていただきたい。また、取りまとめ結果については各委員にご報告をお願いしたい。

以上